

普及項目	増殖
漁業種類等	採貝漁業
対象魚類	アサリ
対象海域	八代海

被覆網を活用したアサリ増殖方法の横展開

県南広域本部水産課・上原 大知

【背景・目的・目標（指標）】

八代海の干潟漁場におけるアサリ資源は、令和2年7月豪雨の影響により大きく減少したが、漁業者による被覆網や囲い網の設置・管理により資源の回復に取り組んでいる。また、八代市の鏡町地区や八代地区で先行して実施された被覆網による増殖技術は、当課による指導により、現在、県南広域本部管内の各地区へ波及している。

令和7年度（2025年度）は、被覆網によるアサリの増殖を新たに始めた4地区において、アサリの生息状況調査を行い、継続的にアサリの増殖と漁獲が行うことができるように、漁場管理の方法について指導・助言を行った。

【普及の内容・特徴】

（1）氷川町竜北地区

竜北地区については、例年5月に数百kgの漁獲があるものの、漁獲量が少ないことが課題となっていた。このため、現地での生息状況調査に同行し、資源を増加させるための被覆網や稚貝捕集のための網袋の設置について助言を行った（図2）。

（2）芦北町芦北地区

芦北地区については、令和4年度（2022年度）から被覆網によるアサリの増殖を開始し、年間2t程度が漁獲されている。一方、過年度に設置した被覆網は付着物による網目の詰まりや破れなどで保護効果が低下しているため、生息状況調査を行うとともに、新たな被覆網への交換や新たな場所への設置について指導した。

（3）津奈木町津奈木・水俣市水俣地区

津奈木地区及び水俣地区については、令和6年度（2024年度）から被覆網によるアサリの増殖に取り組んでいるが、稚貝の密度が100個/m²程度に止まっている。このため、水俣・芦北地域雇用創造協議会と連携し、被覆網の移設や網袋の設置について指導した。

【成果・活用】

（1）氷川町竜北地区

竜北地区では、8月の大雨の影響で囲い網は全損し、一部の被覆網や網袋が埋没していたため、少数のアサリしか確認されなかった。このため、埋没しにくい場所への被覆網や網袋の移設を助言し、年度内に実施された。

（2）芦北町芦北地区

芦北地区では、4月から令和8年（2026年）2月までに計4回の調査を行い、令和5年（2023年）以前に設置された被覆網では、網下に新たなアサリ稚貝が確認さ

れないことや、被覆網自体がカキなどの付着物に覆われ保護効果が低下している恐れがあるため、撤去するよう指導した。また、5月から8月にかけて被覆網の設置時期や場所の違いにより生息密度が異なることを示し、稚貝の分布を調査して、より保護効果が高い場所に被覆網を張るよう指導した（図3）。

（3）津奈木町津奈木・水俣市水俣地区

令和8年（2026年）3月までに、津奈木地区、水俣地区それぞれにおいて、新たな場所への被覆網の設置、稚貝捕集のための網袋の設置が行われた（図4、5）。今後、アサリの生息状況をモニタリングする予定である。

【達成度・自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

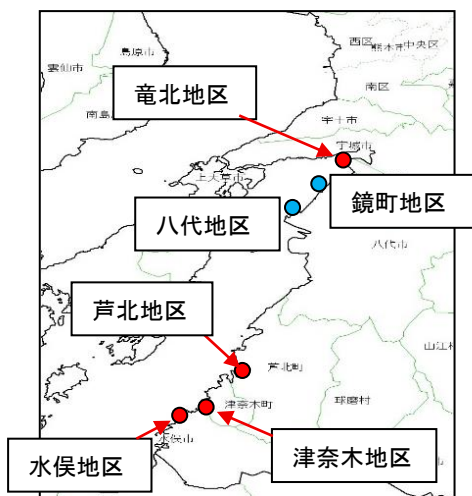


図1 位置図



図2 竜北地区での調査

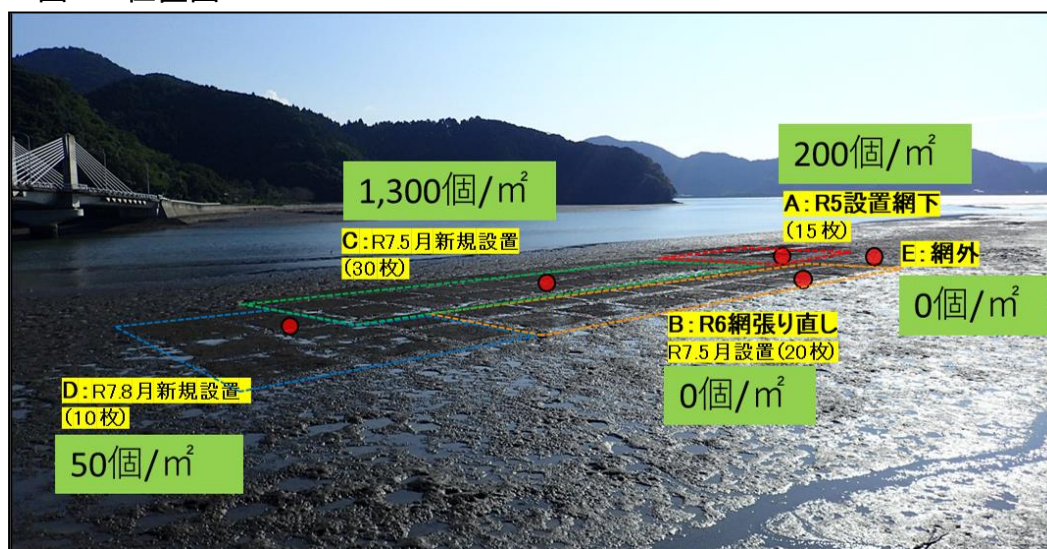


図3 芦北地区の被覆網とアサリの生息所状況（R7.11.6、赤丸は調査地点）



図4 津奈木地区での網袋設置



図5 水俣地区での被覆網設置